■平成23年度 仁淀川清流保全推進協議会のスケジュール (案)

平成 23 年

6~7月 部会(5つ)の開催

・今年度の事業内容の検討 (一斉清掃の実施場所・体制やシンポジウムの内容等)

8月25日 全体会開催

・要綱改正、監事の選任、各部会の状況報告及び事業内容の検討 (一斉清掃の実施方法、シンポジウムの内容等)

8~9月 ・一斉清掃に関するPRの実施 (役場広報への掲載、ポスターの作成、マスコミへの取材依頼等)

10月22日 仁淀川の一斉清掃 実施 *国土交通省 ラブリバー仁淀川と共催

11月 部会(5つ)の開催

- ・一斉清掃の実施についての評価
- ・来年度の取組みについて検討

平成 24 年

- 1月 全体会開催
 - 一斉清掃の実施評価
 - ・来年度の取組みについて検討
- 2月4日 仁淀川シンポジウム の開催

各部会で出された意見等

(開催日:6/22 上八川川流域、6/24 上流・中流域、7/6 下流域、7/7 河口流域)

1. 仁淀川の一斉清掃について

- ①清掃する場所の選ぶ条件に、来やすいよう駐車スペースが必要、参加者が降りて行ける広い河原があり、なおトイレがあるところがいいのでは。
- ②清掃時間は1時間では短いのでは。
- ③子どもや J A 関係者の参加を促したほうがいいのでは。
- ④宣伝方法として役場の広報や防災無線を活用したらいいのでは。
- ⑤ゴミの分別は、参加者にできるだけやってもらう方がいいのでは。
- ⑥参加者にタオルや飲み物を配布したらいいのでは。
- ⑦各市町村で清掃場所1ヶ所は行うということにこだわらず、どの部会(中流域、下流域、河口域部会)も清掃場所は1ヶ所でいいのでは。
- ⑧河口域部会の清掃は国土交通省のラブリバー仁淀川と合同で実施したら。
- ⑨越知町の清掃会場には高知ファイティングドッグスに参加してもらったら。

2. 仁淀川シンポジウムについて

- ①シンポジウムのテーマとしては、仁淀川の未来へのビジョン、次世代に残していき たい仁淀川像 としたらどうか。
- ②基調講演を行う梅原さんの話はおもしろそう、昨年より参加者は増えるのでは。
- ③今年はNHKが仁淀川を色々特集し、力を入れており連携したら。
- ④ポスターセッション発表者は、部会メンバーに限らず、子ども達も参加させたら。
- ⑤パネルディスカッションには、川の保全活動者の話だけでなく、流域でこだわりの ある生産者の方などにも発表してもらったらどうか。

3. その他について

- ①仁淀川流域の情報発信について、昨年発足した広域組織である仁淀川地域観光協議 会が毎月流域のイベントをとりまとめ、発信しているので、連携したら。
- ②部会のメンバーにJA関係者も入ってもらったらどうか。

仁淀川の一斉清掃について(案)

資料 4

■実施時期/体制等

○実施体制

主催:仁淀川清流保全推進協議会・高知市・土佐市・いの町・日高村・佐川町・

越知町・仁淀川町 (流域7市町村)・高知県

共催:仁淀川流域交流会議・ラブリバー仁淀川

○実施日

10月22日(土)。 雨天の場合は29日(土)順延。

(*仁淀川・環境の日=10月24日の前後の土曜日に実施)

○開始時間

午前8時から1時間程度

○清掃場所

各部会 1ヶ所 → 場所は部会で選定。

①上流域部会(仁淀川町) 旧池川町北浦ふれあい公園

②中流域部会(越知・佐川町) 越知町黒瀬キャンプ場上流 300m 黒瀬釣場

③上八川川部会(旧吾北村) 広瀬キャンプ場

④下流域部会(日高村・いの町) いの町波川~鎌田

⑤河口域部会(土佐市・高知市) 土佐市新居/仁淀川河口大橋の袂

(*⑤は国土交通省仁淀出張所のラブリバー仁淀川の取組みと合同開催)

< 国土交通省仁淀出張所のラブリバー仁淀川の取組み>

①時期:毎年10月第3土曜日 (昨年150人程度参加) 8時から1時間程度

②場所:仁淀川の下流域(春野町、土佐市、いの町のうち1ヶ所)

③雨天時:順延する場合の連絡方法は決めているが、今まで雨はふったことがない。

○広報、動員

役場広報への掲載や行政の防災無線の活用。ポスター作成。新聞等への取材依頼。 JA関係者や子ども達の参加の呼びかけを。

〇当日の対応

- ①実施の可否判断について → 午前7時に天候により判断、少雨は決行。 当日問合せ先:各役場
- ②会場受付を設置:参加人数の把握
- ③各会場:ごみ収集袋と手拭の配布(軍手、火バサミの準備)
- ④開始時の挨拶・スケジュール段取り等の説明 挨拶(部会長 又は 首長) + 清掃場所地の役場より段取り説明
- ⑥ごみ収集・分別について
 - → 燃えるゴミと、不燃ゴミを分けて袋に入れてもらう。 ごみ集積場には、分別のための立看板を設置。 分別ごみは、役場の協力によりトラック等で処分場に搬出予定。

■仁淀川シンポジウムについて(案)

(目的)

第2次仁淀川清流保全計画を推進し、①~③の役割を果たすためのシンポジウムを開催していく。

- ①仁淀川流域の清流保全等をみんなで考えていく
- ②仁淀川流域での取組みを公表していく
- ③仁淀川上流から下流域間における相互交流を進めていく

○実施体制

○開催日時 平成24年2月4日(土) <に・よ・ど=仁淀の日>

午後1時~5時(休憩含む)

○開催場所 いの町すこやかセンター

<当日 内容 案>

●開会挨拶:石川会長、塩田町長(仁淀川流域交流会議会長)

① 基調講演

「梅原真」 梅原デザイン事務所/84プロジェクト代表 演題「未 定」

- *「一本釣り藁焼きたたき」「砂浜美術館」、「四万十ドラマ」など地域資源 にこだわり、地域の視点を活かした高知を代表する地域デザイナー
- ② ポスターセッション

ポスターやパネル資料を掲示し、その内容をパワーポイントで発表

○発表者 7組募集×4分程度

各自発表 30分

各自発表者とシンポ参加者との質疑応答 30分

- *部会関係 井上光夫、山崎尭敏、生野宜宏、
- *学校関係 越知中学校
- *NHK (依頼中)

③ パネルデスカッション

仁淀川の清流保全に向けた取組みや地域資源の活用状況を踏まえ、これからの 仁淀川での取組みについて検討していく。

司会進行:畠中智子

パネラー:梅原真、石川妙子、井上光夫、(県) 西尾健一地域産業振興監

○ 出し物コーナーの設置 募集